

平成27年12月行事「正月飾り(GG ひらおか主催)」報告

日 時:2015年12月13日(日)10:00~12:00 天 候:晴れ

場 所:GG ひらおか 2F 参加者: 大人 19人 子ども 7人 計 26名

スタッフ: 9名

準備材料: 稲わら・松の葉(赤松・黒松)・南天の葉と実・笹の葉・ドイツウヒの葉・檜の葉
ウメドキの実・金と銀にスプレーした松ぼっくり・麻ひも・水引(金・銀・赤)・和紙
折り紙・金のひも(ワイヤー入り)・金のひも・金のテープ・ワイヤー(24号緑)

準備用具: 木槌のようなゴム槌・新聞紙・わら切り・はさみ・両面テープ・ボンド

《当日の様子》

8時30分、本日のスタッフ・講師全員集合。大量の材料を部屋まで運びこみ、机などのセッティングをする。部屋の半分には、ブルーシートを敷きつめ、残り半分のスペースは飾り付けをするために使用する机を2つずつ、6つの島を作る。前の部分と、島と島の間にも机を並べ材料を置く。スタッフの奮闘で、豊富な材料が揃っている。

そこから本日の打ち合わせを行う。前回、スタッフ研修を行ったが、時間切れであまりよくわからないままの今日となる。講師の指導の下、とりあえず、参加者の方が来られるまでに準備することや当日の流れの時程を確認し合う。

○準備すること・・・わらの掃除とわら打ち(男性)

水引を5本ずつまとめる・麻ひも(長2本・短1本)を切る・テープを切る・和紙を切るなど(女性)

○時程 10:00 ①会長あいさつ

②館長あいさつ

③スタッフ自己紹介

④講師によるしめなわの説明

10:10 わらそうじ・わら打ち・しめなわ作り

11:00 講師によるかざりの説明・飾りつけ

11:45 作品紹介・感想

大わらわで準備をしていると、9時30分には、最初の参加者が入ってこられる。

2人3人と次々集まって来られたので、まずは一緒にわらそうじから始めていただく。

老若男女、さまざまな年齢の方々、昨年まで何回も参加されている方、家族連れの方などたくさんの方が10時までに集合された。

あいさつや説明が終わると、みなさん俄然張り切りわらそうじに取り組む。

取っても取っても、なかなかきれいにはならないが、ある程度で手首ほどの太さのわらをそれぞれが用意する。

その後は、木槌のかわりのゴム槌でひたすらわら打ちに挑む。

これも、しっかりわらの全体を打つ方と茎の所だけを打つ方とさまざま。

打ち過ぎるとくたつとなるし、打ちが甘いとわらをなう時にバンバシ、どこまでと言われても明確には答えられない。

この時点でかなりの個人差が出てきていたが、ここからが正念場。

3人一組となってしめ縄をなうのだが、なかなかうまく行かず、何回もやりなおしながら、スタッフ・

参加者とも汗だくになってなんとか形ができ上がる。

みなさんそれぞれに個性的な仕上がりだった。

だが、しめなわの周りのわらをはさみできれいに切って形を整え、そのはしをわら切りでななめ切りすると見栄えのよいものとなった。

次は、飾り付けだが、この時点で作業の早い方とゆっくりの方との差がかなりついている。

講師から、水引の取り扱い方や飾りのつける順番などの説明を受けると、それぞれが楽しんで飾り付けをしていた。

折り紙で、しめ飾りや扇を作ったり、松ぼっくりのつけ方を工夫したりと幼児からお年寄りの方まで集中して作業されている。

ここでは、スタッフも見守る形となり、少し手が空いたので、わらの片付けに入る。

早々と終わった方たちは着席してリラックスしておられたが、終了時刻が近づいたため、出来上がった方から前に出て作品を紹介していただいた。みなさん、満足された面持ちで作品を持ち、感想を言ってくださった。

- ・楽しくできた。
- ・こんなに本格的だとは思わなかったが、うまくできた。
- ・赤ちゃんを連れてきたので、大変だったがスタッフの方に手伝っていただいて完成した。
- ・なわをなうのが難しかった。

《スタッフのふりかえり》

※よかったこと

- 飾りの材料が豊富であったことがとてもよかった。
- 講師が来てくださったので、本当にスムーズに進行できた。みなさん喜んで帰られた。
- スタッフ集合を8時30分にできてよかった。たくさんの準備があったが、なんとか間に合った。
- 小さなお子さんを連れてこられた母子と共に作っていたが、帰る時に感謝のことばと共に「一緒に写真を」と言われ嬉しかった。
- 後片付けがとてもスムーズであった。
- わらそうじからわらたたき、自分でしめなわを作るという過程で今回やったが、一から自分たちでやったという感じが味わえてよかった。
- 昨年度まではしめ飾りであり、今年は正月飾りということで違いはあったが、参加者には楽しんでもらったのではないかと思う。

※今後考えたいこと

- 材料を限りのあるものと自由に使えるものとはっきり区別し、伝えることも必要かな。
- 用具(はさみ・ボンド・テープなど)をきちんと用意するべきであった。
- 広報で予め「エプロン・軍手・はさみ・汚れてもよい恰好など」を知らせておきたかった。
- 年配の方から親子連れ、小学生、何回も参加されている方と様々な対象であったので、出来上がりに時間差ができてしまい終わりを待ってもらうこととなった。何かよい方法があれば。
- 先に来て待っていただく方が楽しめるように、もう少し見本を増やしたり何か雰囲気盛り上げたりできることを今後は考えたい。
- いつも考えるが、参加者の子どもにどこまで支援したらよいのか今回も悩んだ。
- しめなわの作りあがる時間に差ができたので、後半の飾りの説明が徹底できなかった。
- 参加者が全員揃うまで、「わらそうじをしましょう。」と急に声かけをしてしまったが、よかったのだろうか。
- それは、よかったが、会のはじめのあいさつの時は、着席してもらった方がよかったのでは。
- 参加者の一人から、たたく方に水につけた方がよいと言われたが、ぬらすとかびがはえるので、たたく方を選んでいく。

正月飾り (グリーンガーデンひらおか)

<1>








2015年12月13日(日)



正月飾り (グリーンガーデンひらおか)

《2》

2015年12月13日(日)

<p>11:37 16</p> 	<p>11:38 17</p> 	<p>11:39 18</p> 
<p>10:30 19</p> 	<p>10:42 20</p> 	<p>10:43 21</p> 
<p>10:44 22</p> 	<p>10:51 23</p> 